

昭和 63 年度

# 秋田県環境技術センター年報

第 16 号

(1988)

秋田県環境技術センター

## は じ め に

昭和63年度の事業概要と調査研究の結果を取りまとめましたので、平素から本県の環境保全行政に対し格別なるご指導、ご協力を戴いている関係各位にお届けする次第であります。

さて、本県では「健康で暮らし良い生活の実現」を県政の基本課題として取り組んでいるところであります。

ご承知のとおり近年の環境問題はその価値観も含め多岐多様にわたっており、とりわけ公害関係ではこれまでの産業型から生活型へと変遷を遂げております。

当環境技術センターは時代の要請と県民のニーズに対応することを基本に社会情勢を適確に見極めながら調査、研究を進めております。

昭和63年度においては、降水成分実態調査、主要道路の沿線排ガス挙動調査等長期継続的に取り組んでいる課題や雪国特有の課題であるスパイクタイヤによる粉じん調査、さらには近年とみに社会問題化しているアスベスト調査等に全力を傾注いたしましたところであります。

しかし、今後の環境行政は公害のない生活環境はもとより「うるおい」と「やすらぎ」のある快適な環境の保全、創造が21世紀へ向けての目標であることに着眼したとき、当環境技術センターの調査、研究も単に実態調査的なものから環境汚染の機構の解明や予測、対策手法の検討等基礎と応用に関する研究を可能なものとして頑張っ  
てまいる所存であります。

そのためにも、是非本年報をご高覧戴くとともに諸兄のご批判、ご指導を賜れば幸いと存じます。

平成元年12月

秋田県環境技術センター

所 長 小 松 良 悦